

# やまぶき

大田市立大森小学校  
学校だより No. 332

発行日 令和5年5月25日  
文責 校長 橋井泰治

## 愛護団活動 スタート

石見銀山遺跡愛護少年団は1969年(昭和44年)に結成され今年で55年目となりました。結団式[4月21日]を行い、全員で愛護団のソーランを復唱しました。



## 私たちの町、大森の歴史をよく知ろう 大森の歴史と文化財を愛護しよう 力を合わせて美しい郷土づくりに努めよう

先輩方からの精神を受け継ぎ、美しいふるさとをしっかりと守ってほしいです。



別日には、早速ミニ愛護団活動として、遊歩道を掃除しました。今年度は石見銀山みらいコンソーシアム様も一緒に協力いただけたこととなりました。子どもたちがきれいにできる場所はわずかではありますが、少しでも地域のために貢献できた喜びを感じてくれると嬉しいです。

## 遠足 事前学習会

石見銀山資料館の仲野館長様をお迎えし、事前学習会を行いました。石見銀山は、昔から銀の産出地として、世界から注目されていたこと、国内でもその時代の武将が領土としてかかえるため争ってきたことなどを分かりやすく説明いただきました。本物の銀も見せていただき、子どもたちも大満足でした。大森の魅力について改めて知ることができました。



## 遠足 全員完歩

4月28日には、晴天のもと遠足を実施することができました。大森小学校では、4年間コースを変えながら地域をまわっています。今年度は、山吹城跡、仙の山、清水谷精錬所跡コースでした。縦割り班に分かれ、リーダーを中心に登山を行いました。入学したばかりの1年生にとっては、とても大変な行程でしたが、石見銀山ガイドのみなさん(安立様、松浦様、福間様)や上級生の声かけであきらめずに最後まで歩くことができました。



出発前に子どもたちにはただ歩くのではなく、「どこで銀が作られたのか」「当時の人たちがどんな暮らしをしていたのか」想像しながら歩いてほしいと伝えていました。ガイドの皆様は銀を生成した場所や林道の脇にある石垣を紹介いただきながら当時の様子を学習しました。子どもたちも「ここにも同じ石がある」「さっき教えてもらった植物だ」など学びを深めていました。



登りづらい場所では、上級生が下級生をサポートしながら、手を引いてあげたり、声をかけたりしていました。先輩の姿に頼もしさや憧れを抱いたと思います。当たり前のように、支え合うことのできる大森の子どもたち。山頂の景色に負けない美しい光景だと思いました。



## 大森っ子農園 苗植え

5月15日に大森さくら保育園のみなさんと、野菜の苗植え、種まきを行いました。技能員の熱田先生から植え方を教わり、熱心に作業を行いました。



子どもたちは、園児と一緒に作業をしながら、「ここにあなをほってね」「上手に植えられたね」と園児に声をかけていました。微笑ましい姿に、地域との密接なつながりのすばらしさを感じました。

夏の収穫がとても楽しみです。(どうかサルやカラスに襲われませんように…)

## 交通安全教室 開催



5月17日に大森駐在所 森山様、久利駐在所 経種様をお招きして、交通安全教室を実施しました。

2年生以上は実際に路上に出る乗車練習を行いました。自分や周りの人たちが安全に通行できるよう、ルールをしっかりと守ってもらいたいです。

## [諸連絡]

・5月8日に 新型コロナウイルス感染症も5類扱いに移行し、学校も少しずつコロナ禍前の生活に戻りつつあります。給食時のアクリル板の撤去や消毒液の使用も任意に変更しました。これまでの教訓もいかながら、少しずつ見直しを進めたいと考えています。

・「相談窓口の設置」について先日文書を出しております。これは、子どもたちの人間関係等の悩みはもちろんのこと、教職員から気になる言動を受けたときに相談できる窓口のことです。安全で安心な学校であり続けるため、しっかり校内職員研修も含め、子どもたちの人権を守っていきます。

日	曜	6月の主な行事
10	土	高山地区連合運動会
12	月	振替休業日
13	火	ミニ愛護団活動(大久保長安の墓、遊歩道)
14	水	3~6年生銀山学習(大久保・釜屋間歩) 予備日6/21□
20	火	授業公開日/救急法講習会